

プラスチックごみ削減活動を通じた住民と観光客の持続可能な共存

活動地域  京都府



課題

地域や文化の持続可能性を考える上で、観光地における環境負荷やプラスチックごみの削減など、京都の祇園祭ごみゼロ大作戦で明らかになった課題に取り組む。

目標

祇園祭におけるプラスチックごみが発生しにくい仕組みづくりを通じて、地域住民と観光客とがともに環境と文化の持続性向上につながるような行動がとれるようになる。



今後の展望

祇園祭山鉾連合会など地域の住民や店舗と連携し、プラスチックごみ削減に向けた仕組みづくりを目指す。また、全国への発信として、各地の祭りにおけるごみ削減策について情報共有を図る予定である。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 祇園祭で、プラスチックごみ削減のために給水スポットを2か所設置し、2日間で1,778人が利用した。また、露店以外の地域店舗でリユース食器利用の働きかけやヒアリングを行い、12店舗が協力した
- 祇園祭で出されたごみの組成調査などを行い、その情報などをもとに地域住民や関係者らと学習会を4回開催し、解決に向けた話し合いを行った。さらに広げるためのシンポジウムも開催し、56人が参加した
- この活動を継続するため、大学生リーダーの研修を行い、大学生47人が祇園祭ごみゼロ大作戦の運営に携わった



シンポジウムの様子

給水スポット利用者 **1,778人**

シンポジウム参加者数 **56人**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

● 苦勞した点

祇園祭は関係者が多く、当日までの調整に苦勞した。

● 工夫した点

祇園祭ごみゼロ大作戦、祇園祭山鉾連合会、京都市などとの連携を重視した。

〒612-0031
京都府京都市伏見区
深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内
電話：075-647-3535
E-mail：agenda@ma21f.jp
HP：https://keaa.or.jp/

